

# シャッター (電動・手動)

## 定期的なお手入れと、 強風後の掃除をお忘れなく。



**PROFILE** トヨタホーム  
[技術監修] アフターサービス担当 DIYアドバイザー

植月 英貴

■用意するもの

バケツ、雑巾、サッシブラシ、硬めの大きいスポンジ、ハンディモップ、中性洗剤、脚立、シリコンスプレー、ゴム手袋

電動式シャッターの場合、シャッターを長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあり、台風時などいざというときに閉まらないというトラブルの原因になります。最低1ヶ月に1度以上は開閉操作を行いましょう。故障と思われる際はトヨタホーム店にご相談ください。

お手入れに  
かかる時間  
約**20分**

### 室外側のお手入れ

お手入れの目安  
年4回

- 1 シャッターを開める。
- 2 水で軽く洗い流す。
- 3 スポンジで汚れを落とす。
- 4 水気をふきとる。
- 5 シリコンスプレーを吹きつける。



シャッターを開めた状態にして掃除を始めます。

**!** 台風などの強風時、スラットの隙間に細かい砂が入るため、そのままシャッターを開けると傷、音、故障の原因になります。シャッターの掃除をしてから開けるといいでしょう。

▲スラット



シャッターカーテンの表面を水で軽く洗い流します。  
**!** 電動式シャッターの場合、シャッターケース内部に水が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。



硬めの大きいスポンジを使い、汚れをこすり洗います。



乾いた雑巾で水気を充分にふきとります。



スラットにシリコンスプレーを吹きつけます。

※このひと手間で、シャッターの開閉がスムーズになります。

**POINT** 汚れがひどい時は...

- (1) 中性洗剤をぬるま湯で薄めてスポンジや雑巾に含ませ、汚れをふきとります。
- (2) 表面に洗剤や汚れが残らないよう、水で充分に洗い流します。

▶ 6 ガイドレールを掃除する。

シャッターを開け、サッシブラシでガイドレールの上から下までブラッシングをして細かい砂などのゴミや汚れを取り除きます。



▶ 7 ガイドレールにシリコンスプレーを吹きつける。

シャッターの開閉をスムーズにするために、ガイドレールにもシリコンスプレーを吹きつけます。



「シャッター使用時のワンポイントアドバイス」

強風時、ガタガタというシャッターの音が気になる場合、サッシとシャッターの間にスポンジを入れると音を抑えることができます。

### 室内側のお手入れ

お手入れの目安  
年4回

#### 「シャッターカーテンの裏側」を掃除する。



シャッターを閉め、シャッターカーテンのホコリや汚れをハンディモップなどで落とします。

**POINT** 汚れがひどい時は...

水を含ませた雑巾で汚れをふきとり、その後、乾いた雑巾で水気を充分にふきとります。

**!** シャッターカーテンの汚れを落とすときに、酸性やアルカリ性の洗剤は使用しないでください。サビや変色の原因になります。また、金属のたわしやワイヤブラシなどは表面が傷つくので使用しないでください。

#### 〈手動式シャッター室内側のメンテナンス〉



操作レバーや錠の部分にゆるみを感じたら、固定ビスをドライバーで閉めましょう。

※操作ロープの磁石部がサッシに当たる音が気になる場合、スラットに貼りつけておきます。その際、閉鎖時に操作ロープに手が届くかご確認ください。

**お願い**

お手入れを始める前に、必ずシャッターの取扱説明書をお読みください。